

Elazzo

SEAT COVER



MAZDA

CX-5

専用シートカバー取付説明書

0728/0729

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

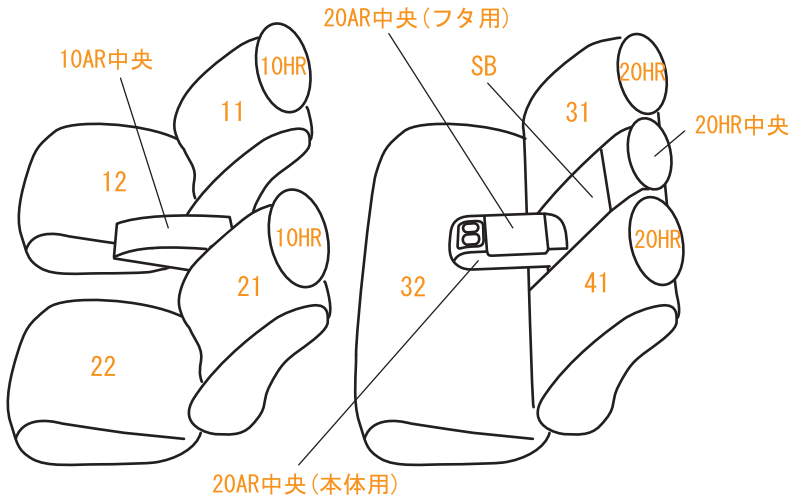
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P～2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P～4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P～6P
1 列目背もたれの装着方法	…> 7P～8P
2 列目座面の装着方法	…> 9P～11P
2 列目背もたれの装着方法	…> 11P～14P
2 列目中央席背もたれの装着方法	…> 15P～16P
1 列目アームレストの装着方法	…> 17P
2 列目アームレストの装着方法	…> 18P～20P
ヘッドレストの装着方法	…> 21P～22P
ヒモの結び方	…> 23P
プラフックの固定	…> 24P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 25P～26P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー
- ② 両面テープ (薄いタイプ)
- ③ クラッツィオ専用ヘラ (付属)

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

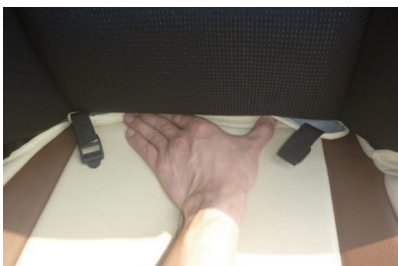
Step 1

…> 1 列目座面の装着方法 (手動シート・パワーシート共通)

助手席側で説明します



- 1 始めにシートリフター（またはパワーシート）を使用し、シートを一番上まで上げて下さい。
この状態で、シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行って下さい。



- 3 入れ込んだ生地を背面側から引き出します。



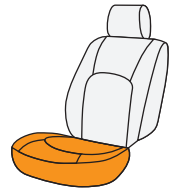
- 4 カバー外側面に付いている固定部材を生地ごとプラスチックとシートの隙間に入れ込みます。入れ込みにくい場合は、ヘラ等を使用して下さい。



- 5 内側面も同様に、固定部材を生地ごとプラスチックとシートの隙間に入れ込みます。
※シートベルトバックル付近の隙間は、図の金属部と、プラスチック部の隙間に固定部材を入れ込むようにして下さい。



- 6 シート外側面付け根のラインに合わせ、生地を入れ込みます。



- 7 カバー前面に付いているベルトをシートの底面を通し、後ろ側から引き出します。



- 10 3番で引き出した生地が付いているバックルに、ベルトを通し固定します。



シート底面を前側から見た図

- 8 シート底面にベルトを通す際は、スライドレバーや金属バーの上側を通して下さい。



- 11 ベルトの通し方は、図の①～③の順番にベルトをバックルに通し、引く事でベルトが締め固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 9 底面を通したベルトを後ろ側から引き出す際は、図のようにシート本体を覆う生地を両側面からベルトを引き出します。



- 12 カバーのラインを整え、1列目助手席座面の完成です。
運転席側も同様に取り付けます。
※運転席パワーシート車も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。

Step 2

1列目背もたれの装着方法 (手動シート・パワーシート共通)



注意

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。

助手席側で説明します



- 1 カバー側面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



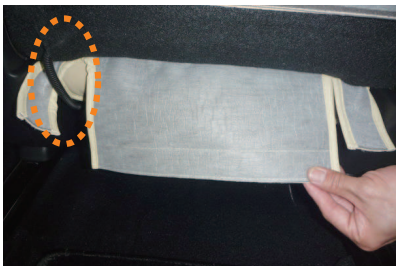
- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。まず台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



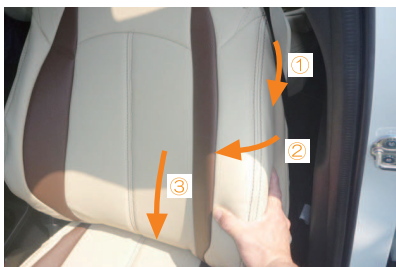
- 3 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



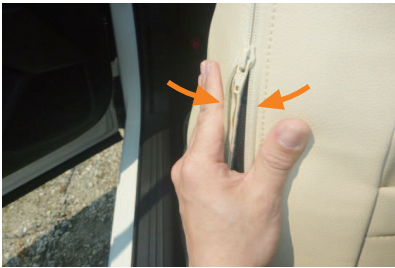
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整し、入れ込みやすい位置で行ってください。



- 5 4番で入れ込んだ生地を背面側から引き出します。図の○位置の配線は、カバーのスリット位置でかわすようにします。



- 6 図の①～③の順番に側面の生地をシートに馴染ませるようにしながら、カバーのラインを整えます。



- 7 カバー外側面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 10 カバー背面下の生地が付いているゴムに、付属の金属フックを付けます。



- 8 閉じたファスナーの余りは、カバーの内側へ入れ込みます。



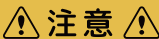
- 11 金属フックは、6ページ9番のようにシート本体を覆う生地の両側面を通し、シート底面に引っ掛け固定します。



- 9 5番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープで固定します。



- 12 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整え、1列目助手席背もたれの完成です。運転席側も同様に取り付けます。※運転席パワーシート車も同様に取り付けます。



注意

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。

Step 3 …→ 2列目座面の装着方法

※カバー装着の為、シートを取り外します。



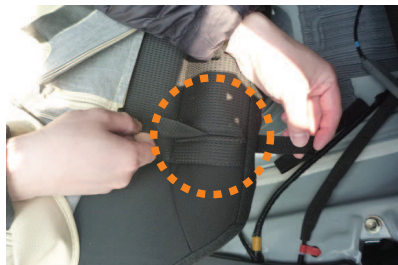
- 1 始めにシートを車体から取り外します。シートは、図の○位置の3箇所固定されています。※手前の2箇所は、シートをめくると固定具が見えます（拡大図参照）



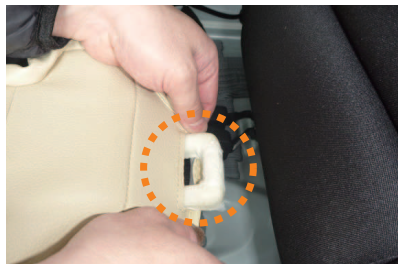
- 2 シートの固定具は図のような形状をしています。白いレバーを右にスライドさせるとシートを固定しているツメが外れるようになります。



- 3 奥の固定具（○位置）を外すには、図の矢印方向にシートを押し下げながら引き出すようにして外します。※シートと車体は配線で繋がっていますので、カバーの装着はこの状態で行います。



- 4 シートのISOFIX対応用金具位置（○位置）のスリット部に、カバー生地裏の同じ位置に付いているベルトを通します。（計4箇所）



- 5 3番で外した固定具（ツメ）を、カバーの加工穴から取り出します。



- 6 シートのラインに合わせ、カバーをかぶせます。



7 4番で通したベルトが付いた生地をシートにかぶせ、生地が付いているマジックテープでシートに直接固定します。



10 シートを図のように起こした状態で、カバー前後のベルトを固定します。(計6箇所)



8 運転席側のシートベルトバックル位置に生地を入れ込みます。



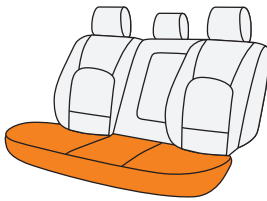
11 ベルトは、図のように指で押さえた状態でシートのラインに沿うように、引っ張り加減を調整して下さい。
※ベルトが張った状態では、シートを戻す際に2番の固定具が正しく固定出来ません。



9 助手席側のシートベルトバックル位置の形状に合わせ、カバーをかぶせます。



12 カバー両側面のヒモを引き絞りに、結び留めます。詳しいヒモの結び方は、23ページの「ヒモの結び方」をご覧ください。



Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法



- 13 シートを取り外した反対の手順で車体に戻します。
※シートベルトバックルが取り出しにくい場合は、シートベルトをバックルに取り付けた状態でバックルを引き出すようにすると、作業がしやすくなります。



- 14 シートベルトバックル収納部に、カバーの生地を入れ込みます。



- 15 カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。



- 1 カバー装着前に、荷室のラゲッジボードを取り外します。

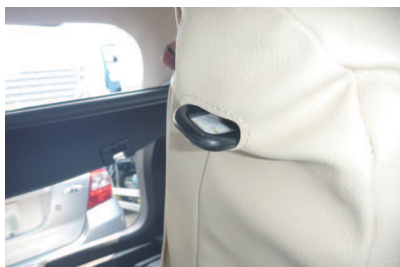


- 2 ラゲッジボード下の、サブトランクボックスも取り外します。
この状態で、カバーの装着を行います。

助手席側で説明します



- 3 カバー背面のファスナーを開き、中央席用シートベルトの下側を通し、シートを包み込むようにカバーをかぶせます。



- 4 背もたれ内側面には、中央席固定用の金具がありますので、カバーの加工穴から取り出します。



- 7 閉じたファスナーの余りは、カバーの内側へ入れ込みます。



- 5 背もたれ肩口のリクライニングレバーに付いているシートベルトガイド部（○部）の隙間に生地を入れ込みます。



- 8 中央席用シートベルトの台座の隙間に生地を入れ込みます。隙間が狭いので、慎重に作業して下さい。



- 6 カバーのファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。



- 9 生地を入れ込むと、このようになります。併せて、1列目と同様にヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



10 背もたれカバーのラインを、この時点で整え、作業を続けます。



13 11・12番で入れ込んだ生地を背もたれ背面側から取り出します。



11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



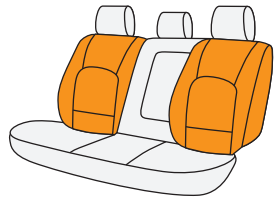
14 取り出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。



12 背もたれのヒンジ部（○部）をかわすように生地を入れ込みます。



15 背もたれ背面にある、チャイルドシート固定用アンカー部の隙間に生地を入れ込みます。



16 生地を入れ込むと、このようになります。



19 外側面の背もたれ固定用ヒンジ部も、同様に生地を入れ込みます。



17 肩口のリクライニングレバー部の隙間にも生地を入れ込みます。
※隙間がかなり狭くなっていますので、慎重に作業して下さい。



20 カバーのラインを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。
運転席側も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。



18 リクライニングレバー背面部は、このようになります。

Step 5

…> 2列目中央席背もたれの装着方法

※タグにSBと表記されたカバーを使用します



- 1 カバー背面に付いているファスナーを開きカバーを裏返した状態で、シートのラインに合わせ、かぶせます。



- 4 アームレスト下のシート形状に合わせ、カバーをかぶせます。背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 図の矢印位置が一番シートの幅が広い為、無理に力を掛けるとカバーが破れる恐れがありますので、慎重にカバーをかぶせるようにして下さい。図の○位置のカバーの加工穴からストラップを取り出します。併せて、ヘッドレストの台座も取り出します。



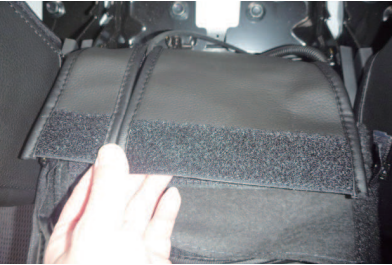
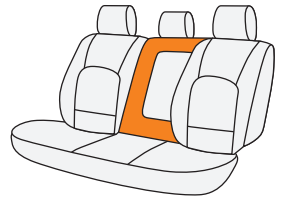
- 5 シート背面下の生地を、図のようにめくり上げます。



- 3 カバーをかぶせる際に、アームレストを取り出すようにします。



- 6 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。5番でめくり上げた生地は、カバーの内側へ入れ込みます。



7 4番で入れ込んだ生地を、背面側から引き出します。この際、シート背面にある配線をかわずようして下さい。



10 6番で閉じたファスナーの余りを、カバーの内側へ入れ込みます。カバーのラインを整え、2列目中央席背もたれの完成です。



8 7番でかわす配線は荷室側から見ると、このようになります。



9 7番で引き出した生地と、カバー背面下の生地をマジックテープで固定します。

Step 6

…> 1 列目アームレストの装着方法



- 1 1 列目アームレストを開けた状態で、カバーを図のように、アームレスト後方に引っ掛けるようにします。



- 4 図の緑線部の隙間に生地を入れ込みます。



- 2 生地伸びを利用して、カバーを前側にかぶせます。



- 5 1 番で引っ掛けた後ろ側の生地部分（図の赤線部）は入れ込みません。



- 3 アームレストの隙間にカバーの生地を入れ込みます。



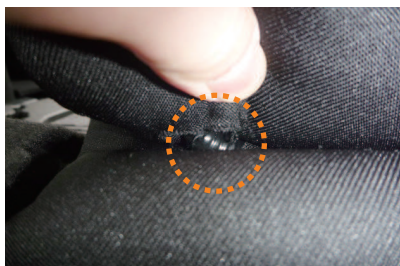
- 6 カバーのラインを整え、1 列目アームレストの完成です。

Step 7

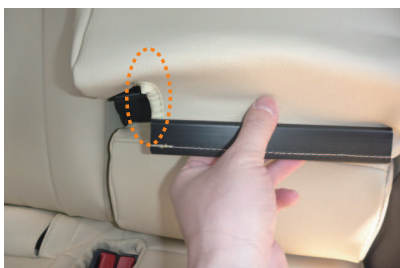
…→ 2列目アームレストの装着方法



- 1 2列目アームレスト用カバーは、本体とフタ部分の2パーツで構成されています。アームレストの本体用カバーを前側からかぶせていきます。



- 2 アームレストと中央席背もたれのアームレスト収納部は、図のように配線で繋がっています。
※この配線は、アームレスト内のUSB電源用ですので、外す事が出来ません。



- 3 1番でかぶせたカバーの先端に、ブラフックが2箇所付いていますので、アームレストを収納した状態で、アームレストの隙間に入れ込みます。この際、○位置で2番の配線をかわすようにします。



- 4 入れ込んだブラフックが付いた生地を、図のようにアームレストの隙間から取り出します。隙間が狭くなっていますので、アームレストを前後に動かしながら少しずつ生地を取り出すようにして下さい。



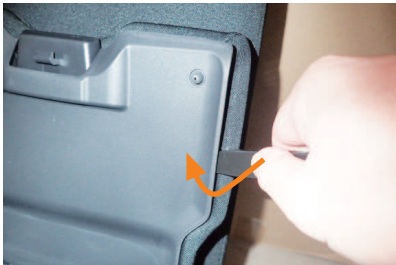
- 5 取り出したブラフックと、アームレストのフタ用カバーに付いている平らなプラスチックを固定します。
詳しい固定方法は、24ページの「ブラフックの固定」をご覧ください。



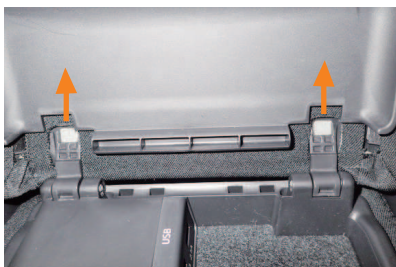
- 6 ブラフックを固定すると、このようにアームレスト本体用とフタ用のカバーが繋がった状態になります。



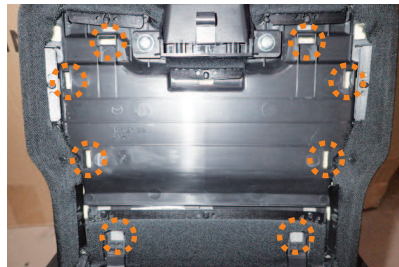
7 アームレストのフタを開き、裏側のプラスチックパーツを取り外します。
図のように、フタの隙間にヘラ等を差し込み、手前に返すようにすると、パーツを固定しているツメが外れます。ツメの固定位置は、10番を参考にして下さい。



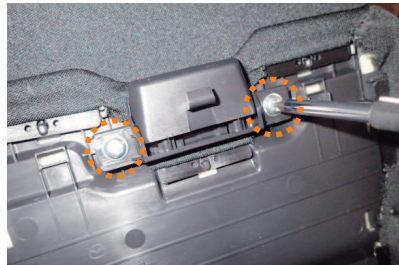
8 10番のツメの固定位置を参考に、上側から順番にツメを外します。(計6箇所)



9 フタのヒンジ部付近の2箇所のツメは、プラスチックパーツを上側にスライドさせる事で外せます。



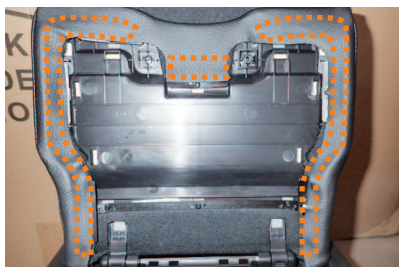
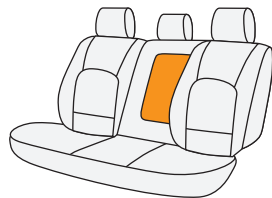
10 プラスチックパーツを外した図です。
○位置にツメが固定されています。
上側の6箇所のツメは、ヘラ等で取り外し
下側の2箇所のツメは、プラスチックパーツをスライドさせる事で外せます。



11 フタの固定具を取り外します。
図の2箇所のネジをプラスドライバーで外すと、固定具が外れます。



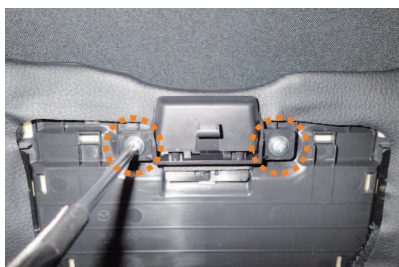
12 カバーの固定には両面テープの使用を推奨します。使用するテープは薄くて粘着力が強力なものが良いです。両面テープは、カバーを裏返した状態で、図の点線部分を参考に貼り付けます。この作業で、仕上がりの精度がかなり異なります。



- 13 アームレストのフタにカバーをかぶせ、図の点線位置に両面テープで固定します。



- 16 アームレスト本体のプラスチック部の隙間に生地を入れ込みます。
※隙間が狭くなっていますので、慎重に作業して下さい。



- 14 11番で外した固定具を元に戻します。
この際、カバーを固定具で挟み込むようにして下さい。



- 17 カバーに、図のような固定部材が付いている場所は、ヘラ等でプラスチック部の隙間を押し上げるようにして、部材を挟み込むようにします。



- 15 9～7番の手順で、プラスチックパーツを元に戻します。
初めに下側の2箇所ツメを戻し、外した逆の手順で下側から上に向かってツメを固定して下さい。
※誤った手順を行うと、ツメを破損する恐れがありますのでご注意下さい。



- 18 カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。
※アームレスト付け根の一部に、生地が覆われない箇所がありますが、アームレスト動作時に生地が干渉してしまう為、覆わない仕様になっております。
予めご了承下さい。

Step 8

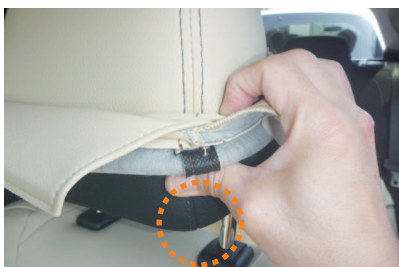
…→ ヘッドレストの装着方法



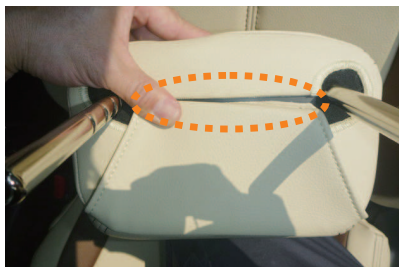
- 1 カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせて下さい。



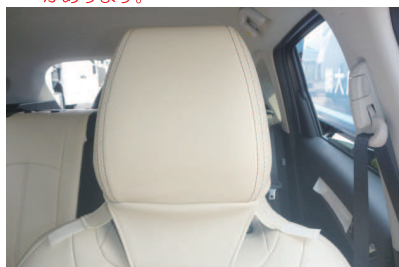
- 4 ヘッドレストをシートから外し、カバー底面の生地を矢印方向に寄せながら、マジックテープで固定します。



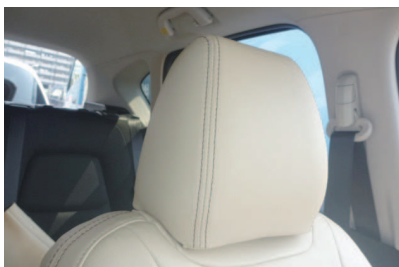
- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。
○位置にカバーをかぶせる際は、カバーの端を引っ張らないよう注意して下さい。
端を無理に引っ張るとカバーが裂ける恐れがあります。



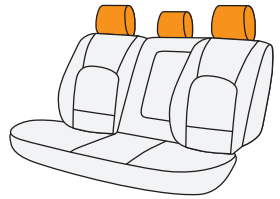
- 5 カバー前後に付いているブラフックを固定します。
詳しい固定方法は、24ページの「ブラフックの固定」をご覧ください。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。カバーのラインがずれている場合は、この時点で修正して下さい。



- 6 ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。



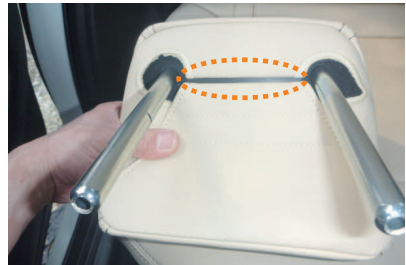
7 2列目ヘッドレストは前側から後ろ側へかぶせていきます。



10 ヘッドレストをシートから外し、カバー底面の生地を矢印方向に寄せながら、マジックテープで固定します。



8 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。
○位置にカバーをかぶせる際は、カバーの端を引っ張らないよう注意して下さい。
端を無理に引っ張るとカバーが裂ける恐れがあります。



11 カバー前後に付いているブラフックを固定します。
詳しい固定方法は、24ページの「ブラフックの固定」をご覧ください。

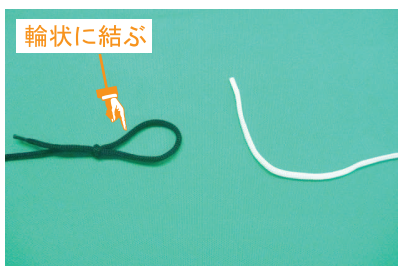


9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。カバーのラインがずれている場合は、この時点で修正して下さい。

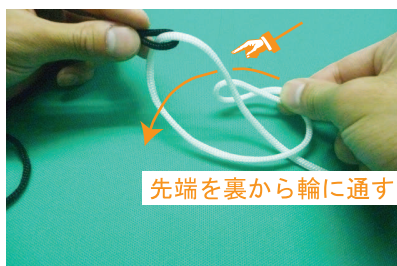


12 ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。
2列目中央席ヘッドレストも、形状が異なりますが同様に取り付けます。

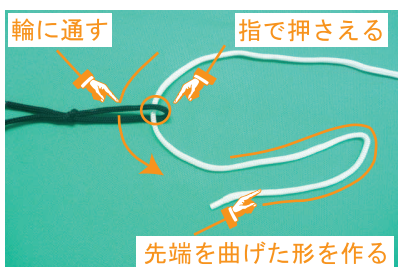
…→ ヒモの結び方



- 1 ヒモの結び方です。片方のヒモを図のように輪状に結びます。※図はわかりやすいように、色の違うヒモを使用しています。



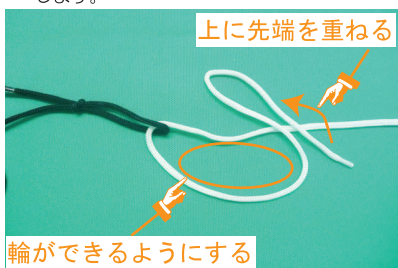
- 4 輪に、重ねた先端を裏から通します。



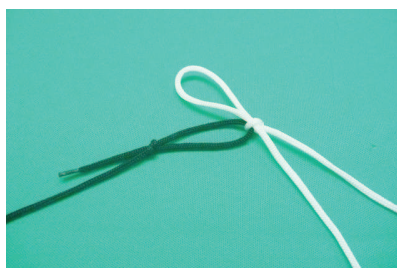
- 2 輪に、もう片方のヒモを通し引っ張ります。ヒモが締まっている状態のまま、輪にヒモが通っている箇所を指で押さえます。この後の工程は押さえながら行って下さい。また、通したヒモの先端を図のような形にします。



- 5 通した後、カバーから出ている方のヒモを引っ張ります。逆のヒモを引っ張ると、ヒモが抜けてしまうため注意して下さい。



- 3 曲げた先端を通してきたヒモの上に重ねます。重ねると図のような輪状の形になります。



- 6 引っ張ると図のような形になり完成です。

…→ プラフックの固定



- 1 ヘッドレストやアームレスト等には、カギ状のプラフックと板状のプラフックを使用して固定するものがあります。
例：ヘッドレスト



生地ごと巻き込む

- 2 プラフックの固定方法は、カギ状のプラフックに板状のプラフックのみを、生地ごと巻き込むようにはめ込み固定します。



- 3 図は間違った固定方法です。
板状のプラフックのみをカギ状のプラフックに引っ掛けるだけでは、しっかり固定出来ません。



- 4 正しくプラフックが固定されると、カバーの継ぎ目が図のようになります。



- 5 間違った固定をすると、カバーの継ぎ目に図のように板状のプラフックの縫製系が見えてしまいます。



- 6 例で使用したヘッドレストの場合、このようになります。

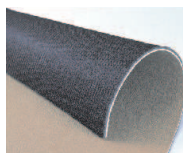


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となります。しっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816